

上毛かるた審判講習会 参考資料

審判員の手引き

上毛かるたの読み方について

得点表の記入方法と提出までの手順

得点表記入例（団体戦の場合・キケンの場合）

得点表（用紙：団体・個人）

上毛かるたの並べ方（推奨例：団体・個人）

高崎市子ども会育成団体連絡協議会

かるた部会

令和5年7月

審判員の手引き

1 各審判の担当について

(1) 校区審判員

○試合の判定をします。

(2) コーナー審判員

○市子連の公認審判員が担当します。

○試合コートのトラブル解決をします。得点表など記載方法に疑義があった場合なども相談してください。

○コーナー審判員は起立して審判にあたります。

○タイムの旗が上がったら、その試合コートに直行します。

(3) 審判長

○審判長が試合の進行を止めたり、再開したりします。

2 審判員の役割について

(1) 選手の姿勢・態度・おしゃべりには、厳重に注意と指導をお願いします。

(2) 団体戦の場合、主審は取った札の判定をし、副審が姿勢や態度の注意をしてください。

(3) 判定は、左・右の手を差し出して判定を指し示してください。

(4) 最低限のルールは確認しておいてください。

「おてつき」「はやどり」「はらいどり」「かばいて」「役札」など。

(5) 得点表を記入し、勝敗を判定します。

3 試合が始まる前（次の試合の始まる前）について

(1) 試合前に札の枚数を確認し、札を良く切っておくようにしてください。

(2) 得点表の準備（必要事項の記入）をしておいてください。

(3) キケン試合の場合

○キケンの場合も得点表は提出します。不戦勝の選手のサインをもらってください。

○キケンの場合は、キケンの目印に「×」印の画用紙をコートに置いたままにしてください。

○不戦勝の選手は試合開始の「礼」のあとに静かに退席させてください。

4 タイムについて

(1) 「タイム」をかけるときは黄色い旗を高くあげてください。旗が上がると「タイム」のコールがかかります。

(2) 審判員は、読み手の「本読み」が終わり、「空読み」が終わるまでの間だけに「タイム」をかけるようにお願いします。

(3) 「本読み」が始まってからの「タイム」があっても、試合は続行していると判断します。

(4) 「タイム」をかけたときは、問題が解決するまで旗を挙げたままにしてください。旗を下げると「ノータイム」とみなされます。

(5) 「タイム」がかかるとコーナー審判が急行します。素早く解決してください。

(6) 「タイム」は試合運びを遅らせます。極力、無駄な「タイム」をかけないようにお願いいたします。特に、散らかった札を直すための「タイム」は、なるべくかけないでください。選手には、両手を使って素早く直すように指導や注意をして、低学年の場合は審判が手伝ってください。

(7) トイレのための「タイム」について

○試合中、選手はいつでもトイレに行くことができます。但し、「タイム」はかけず、試合は続行します。

○審判員は試合中にはトイレに行けません。

○第2試合終了時に、トイレ休憩となります。

上毛かるたの読み方について

【読み方についての注意事項】

- 選手に聞き取りやすい読みを心掛ける
- 読みは、一定のリズムで 高低をつけず 同じ調子で読む
- 第1音を ハッキリ 強めに
- まぎらわしく聞き取りにくい読み札は、特に注意

太字
3文字を
強調

- 『 **ほ** **こ** **る** (誇る) 文豪 田山花袋 』
- 『 **こ** **こ** **ろ** (心) の灯台 内村鑑三 』
- 『 **お** **お** **た** (太田) 金山 子育呑龍 』
- 『 **け** **ん** **と** (県都) 前橋 糸の市^{まち} 』
- 『 **て** **ん** **か** (天下) の義人 茂左衛門 』

- 読み札は、役札・親札が最初の3枚、最後の5枚以内に含まれないようにする
ただし、入っていても競技は成立とする（大会当日は大会役員が読み札を準備）

- 次の三枚の札は、作成年代で読み方や数が違うため、下記の通りに統一する

- 『 滝は 吹き割れ 片品溪谷 』 ⇒ 「吹き割り」と読まない
- 『 力あわせる 二百万 』 ⇒ 最新版の読み札「二百万」で統一
- 『 和算の大家 関 孝和 (せき こうわ) 』 ⇒ 「せき たかかず」と読まない

読み方】

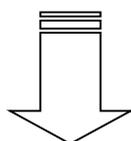
- 1 **本読み** は 1 回、^ま間をあけて**本読み**と同じ札を ^{からよ}**空読み** します

間の時間はおおよその目安です
10秒前コールのあと試合開始です

- 2 試合開始 **予 鈴** 『つる舞う形の 群馬県』
～ 1.5秒位 間をおく ～
空読み 『つる舞う形の 群馬県』
～ 1.5秒位 間をおく ～
本読み 『伊香保温泉 日本の名湯』
～ 6 秒位 間をおく ～
空読み 『伊香保温泉 日本の名湯』
～ 1.5秒位 間をおく ～
本読み 『草津よいとこ 薬の出湯』
～ 6 秒位 間をおく ～
空読み 『草津よいとこ 薬の出湯』
～ 1.5秒位 間をおく ～

試合開始の**予鈴**・**空読み**
は『つ』の札です

本読み のあと次の **本読み**
に入る前までに「タイム」が
かかった後「ノータイム」の
コールで **空読み** から始め
める
空読み は「タイム」のかか
ったときの札です
この場合は「伊香保・・・」



(次の札も同じように読んでいく)

3 最後から3枚目

- 本読み** 『世のちり洗う 四万温泉』
～ 札を取ったら「タイム」状態になる～
残り2枚の準備をする

選手が残りの2枚の準備
が完了すると「ノータ
イム」のコールがかかり
空読み を始める

4 最後の2枚

- 空読み** 『世のちり洗う 四万温泉』
～ 1.5秒位 間をおく ～
本読み 『日本で最初の 富岡製糸』
～ 終 了 ～

得点表の記入方法と提出までの手順

【団体戦の場合】

- 1 取った枚数を数える ⇒ 審判は合計して44枚になるか確かめる ⇒ 取った枚数に記入
- 2 「つ」の確認する ⇒ 得点表に「つ」がある方に○を付ける
(同じ点数の場合「つ」がある方が勝ちとなる)
- 3 役札がそろっているか確かめる (総合得点の採点方法)
役札がない場合 ⇒ **取った枚数が総合得点となる**

役札がそろった場合 (太字の枚数は中学生のみ)

- ① 取った枚数から、そろった役札の枚数 (3枚、5枚、8枚、**11枚**) を差し引く
- ② ①にそろった役札の点数を (10点、20点、30点、**40点**) を加算する
取った枚数 - 役札の枚数 + 役札の点数 ⇒ 総合得点となる

- | | | | |
|---------|---------------------|-----|----|
| 4 役札の種類 | 親 札 「つ、ち、け」 (中学生のみ) | 10点 | 3枚 |
| | 上毛三山 「す、も、の」 | 10点 | 3枚 |
| | 五 市 「お、か、め、き、け」 | 20点 | 5枚 |

- 5 役札の組合せと差し引く枚数と点数

全 体	「す、も、の」	3枚	10点
	「お、か、め、き、け」	5枚	20点
	「す、も、の」と「お、か、め、き、け」	8枚	30点
中 学 生 の み	「つ、ち、け」	3枚	10点
	「つ、ち、け」と「す、も、の」	6枚	20点
	「つ、ち、け」と「お、か、め、き、け」	8枚	30点
	「つ、ち、け」と「す、も、の」と「お、か、め、き、け」	11枚	40点

- 6 得点表には競技前に審判 (副審) が、得点と選手サイン以外の場所を記入しておく
- 7 競技終了後審判 (主審) が得点を記入し採点が終わったら、選手がサインをする
副審も間違いや記入漏れがないか、収集係に渡す前に確認しておく
- 8 収集係に渡す

【個人戦の場合】 団体戦手順 の1・2・6・7・8を参照 (3・4・5は除く)

【相手が棄権の場合】

- 1 相手が棄権の場合でも、審判員と選手はコートに着席する
- 2 競技前に審判員が『得点表』に記入したあと、不戦勝の選手がサインをする
- 3 始めの挨拶終了後、審判員と選手は静かにコートから退場する

【得点表記入例】

団 体 戦																	
第 5 試合					第 111 コート												
第 5・6年生 の部					(1.2年生 3.4年生 5.6年生 中学生を記入)												
審判名		(主審) 学校区 〇〇校区 氏名 群馬 花子		「こ」の札がある方		審判預かり		総合得点		勝敗 ○ ×		試合後に 選手が名前を 記入する 得点と勝敗 を確認する					
		(副審) 学校区 △△校区 氏名 高崎 太郎															
校区名 * 審判が記入してください		取 つ た 枚 数	役札			役 札 の 枚 数	差 し 引 く	「こ」の札がある方		審判預かり		総合得点		勝敗 ○ ×		試合後に 選手が名前を 記入する 得点と勝敗 を確認する	
☆☆校区		19 枚	あり (10点)	あり (20点)	あり (10点)	5 枚	あり	あり		34 点		○		サイン			
◇◇校区		25 枚	あり (10点)	あり (20点)	あり (10点)	3 枚	あり	あり		32 点		×		サイン			
太線内は試合前に記入										(44)		(44 51 59 66)					

【相手が棄権の場合の記入例】

団 体 戦																	
第 5 試合					第 111 コート												
第 5・6年生 の部					(1.2年生 3.4年生 5.6年生 中学生を記入)												
審判名		(主審) 学校区 〇〇校区 氏名 群馬 花子		「こ」の札がある方		審判預かり		総合得点		勝敗 ○ ×		試合後に 選手が名前を 記入する 得点と勝敗 を確認する					
		(副審) 学校区 〇〇校区 氏名 高崎 太郎															
校区名 * 審判が記入してください		取 つ た 枚 数	役札			役 札 の 枚 数	差 し 引 く	「こ」の札がある方		審判預かり		総合得点		勝敗 ○ ×		試合後に 選手が名前を 記入する 得点と勝敗 を確認する	
☆☆校区		枚	あり (10点)	あり (20点)	あり (10点)	枚	あり	あり		点		○		サイン			
◇◇校区		枚	あり (10点)	あり (20点)	あり (10点)	枚	あり	あり		点		×		キケン			
太線内は試合前に記入										44		(44 51 59 66)					

団 体 戦

第 試合 第 コート

第 の部 (1.2年生 3.4年生 5.6年生 中学生を記入)

審判名 (主審) 学校区 氏名
 (副審) 学校区 氏名

校区名 * 審判が記入してください	取 つ た 枚 数	役札			役 札 の 枚 数	「 つ 」 の 札 が あ る 方	審 判 預 かり	総 合 得 点	勝 敗 ○ ×	試合後に 選手が名前を 記入する 得点と勝敗 を確認する
		親 札 ※ 中 学 生 の み	五 市 札 「 お か め き け 」	三 山 札 「 す も の 」						
	枚	あり (10点)	あり (20点)	あり (10点)	枚	あり		点		
	枚	あり (10点)	あり (20点)	あり (10点)	枚	あり		点		

太線内は試合前に記入

44

(44 51 59 66)

団 体 戦

第 試合 第 コート

第 の部 (1.2年生 3.4年生 5.6年生 中学生を記入)

審判名 (主審) 学校区 氏名
 (副審) 学校区 氏名

校区名 * 審判が記入してください	取 つ た 枚 数	役札			役 札 の 枚 数	「 つ 」 の 札 が あ る 方	審 判 預 かり	総 合 得 点	勝 敗 ○ ×	試合後に 選手が名前を 記入する 得点と勝敗 を確認する
		親 札 ※ 中 学 生 の み	五 市 札 「 お か め き け 」	三 山 札 「 す も の 」						
	枚	あり (10点)	あり (20点)	あり (10点)	枚	あり		点		
	枚	あり (10点)	あり (20点)	あり (10点)	枚	あり		点		

太線内は試合前に記入

44

(44 51 59 66)

個人戦

第 試合 第 コート

第 の部 (1.2年生 3.4年生 5.6年生 中学生を記入)

審判名 (主審) 学校区 氏名
 (副審) 学校区 氏名

校区名 * 審判が記入してください	取った枚数	「つ」の札がある方	審判預かり	総合得点	勝敗○×	試合後に 選手が名前を 記入する 得点と勝敗 を確認する
	枚	あり	枚	点		
	枚	あり		点		

太線内は試合前に記入

個人戦

第 試合 第 コート

第 の部 (1.2年生 3.4年生 5.6年生 中学生を記入)

審判名 (主審) 学校区 氏名
 (副審) 学校区 氏名

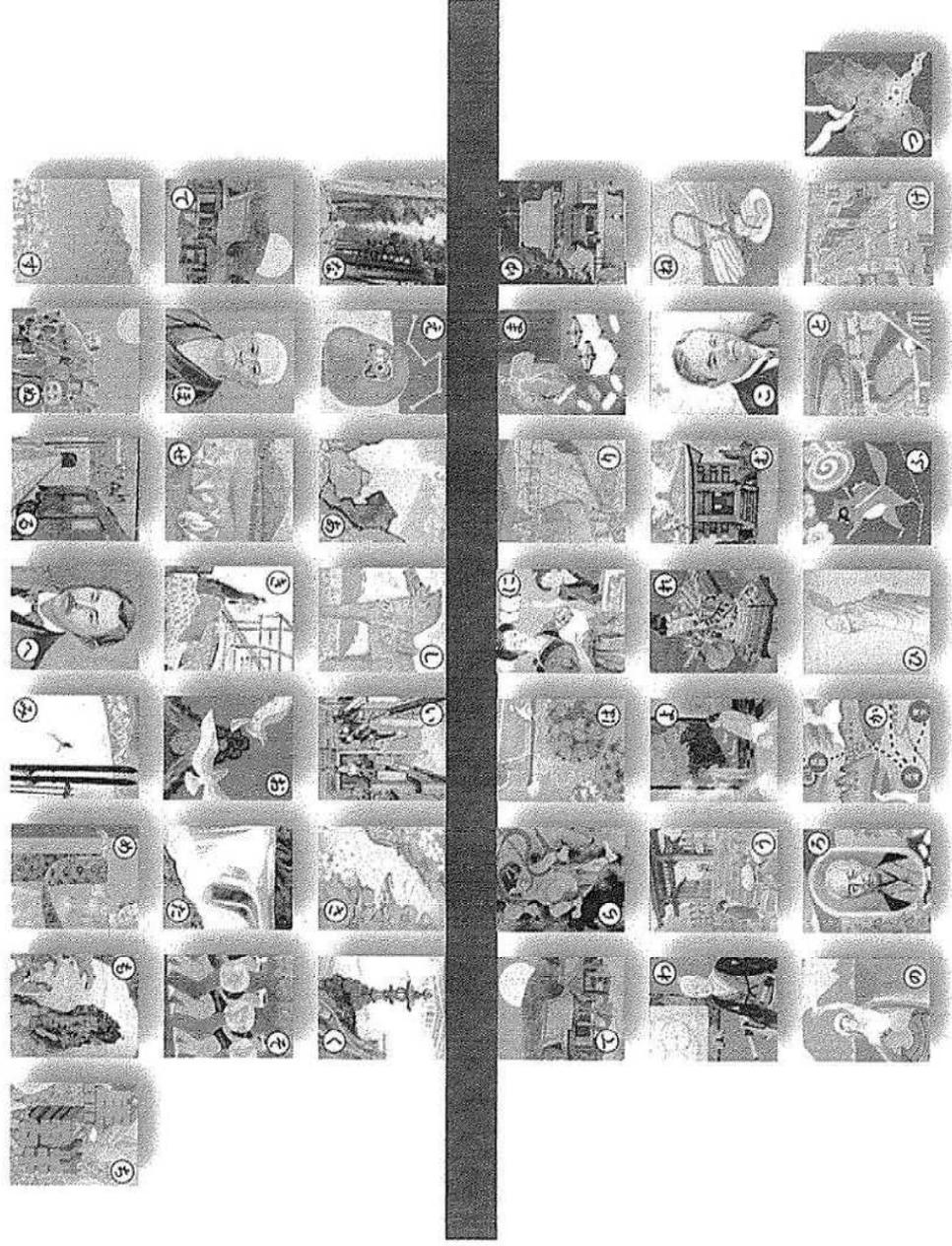
校区名 * 審判が記入してください	取った枚数	「つ」の札がある方	審判預かり	総合得点	勝敗○×	試合後に 選手が名前を 記入する 得点と勝敗 を確認する
	枚	あり	枚	点		
	枚	あり		点		

太線内は試合前に記入

個人戦の並べ方

(高崎市推奨例)

上から、横へ7枚・7枚・8枚
3段になるように並べ、対角線上になる。



団体戦の並べ方

(高崎市推奨例)

各段ごと11枚並べ、二段に並べ、対角線上になる。
左右の選手・7枚、中央の選手・8枚

